

## 情報公開文書

消化器癌(胃癌、肝癌、大腸癌、食道癌、膵癌、胆道癌)の手術・生検検体や血液サンプルを用いて、発癌関連遺伝子群の発現変化を解析することで、消化器癌の診断や治療に有用な知見を探索するための研究を行っています。

- 研究の名称は「消化器癌におけるがん抑制遺伝子・DNA 修復関連遺伝子群の発現量の検討について」であり、倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て研究を行っています。研究は京都大学医学部附属病院の消化器内科、外科で主に行っています。
- 研究対象者は胃癌、肝癌、大腸癌、食道癌、膵癌、胆道癌と診断されている方です。2001年4月～2023年3月の間に外科的もしくは内視鏡的に切除された手術検体の一部ならびに生検検体の一部、および血液サンプルを用いて、発癌関連遺伝子群の発現変動についての解析を行います。
- この研究で得られた結果は、消化器癌の臨床診断のための資料として使用します。専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。個人情報に対応表を作成したうえで匿名化し、個人情報管理者が取り扱います。
- 研究終了後に、血液やDNAなどのサンプルが残っていた場合、長期保存し、将来の研究に使用することがあります。その場合、新たに研究計画書を作成し倫理委員会の審査を受けた上で実施されます。
- 解析によって得られたデータは、他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、匿名化の上で公共データベースに登録し、多くの研究者と共有します。
- 他の研究対象者の個人情報の保護に支障がない範囲での研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧ができますので、担当医師にお申し出ください。また、もしこの研究に検体を使用しないことをご希望の方がおられましたら、下記までご連絡ください。
- この研究について何かわからないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師にご相談ください。

(京都大学医学部附属病院 相談支援センター TEL 075-751-4748 E-mail [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp) または消化器内科医局 TEL 075-751-4319)

研究機関：京都大学大学院 医学研究科 消化器内科、研究責任者：宇座 徳光